



2025 年 4 月 28 日

各 位

会 社 名 北陸電力株式会社
代表者名 代表取締役社長 社長執行役員 松田 光司
(コード：9505 東証プライム市場)
問合せ先 経営企画部設備計画チーム統括（課長） 坂井 幸円
(TEL 076-441-2511)

富山新港火力発電所 L N G 2 号機の建設に向けた 事前調査および設備設計の開始に関するお知らせ

富山新港火力発電所 L N G 2 号機の建設計画を決定の上、事前調査および設備設計を開始することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

当社は、供給力の確保と火力電源の低炭素化を両立する方策として、高経年化が進んでいる富山新港火力発電所石炭 2 号機および休止中の 1 号機（石油）を廃止し、最新鋭の高効率ガスタービン・コンバインドサイクル発電設備となる L N G 2 号機を建設する計画の検討を開始するとともに、環境影響評価手続き（配慮書送付）を開始しました。

建設計画の検討開始以降、技術事項、経済性などの総合的な事業性評価を進め、このたび、富山新港火力発電所 L N G 2 号機の建設計画を決定の上、事前調査および設備設計を開始することとしました。

今後、設備の詳細検討を進め、地元の皆さまおよび関係各所のご理解・ご協力を頂きながら、2033 年度運開を目指して計画を進めてまいります。

なお、L N G 2 号機を新設することで、当社全体として年間の C O 2 排出量を 200 万トン程度削減※することが期待できます。

当社としては、カーボンニュートラル達成に向けたロードマップに基づき、将来的に、カーボンニュートラル燃料（水素・アンモニア）等への転換や C O 2 回収・有効利用・貯留（C C U S）技術の導入等を進め、2050 年のカーボンニュートラルの実現に向け、引き続き、最大限取り組んでまいります。

※出力 60 万 kW 級の火力発電所を石炭から L N G に置き換えた場合の試算値

【富山新港火力発電所 L N G 2 号機建設計画概要】

所在地	富山県射水市堀江千石 1 番地
発電方式	コンバインドサイクル発電方式
出力	約 60 万 kW
使用燃料	L N G
着工時期	2029 年度（予定）
運転開始時期	2033 年度（予定）

【建設スケジュール（予定）】

年度	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
全体工程	▼環境影響評価開始				▼準備工事開始				LNG 2号機 運転開始	
						▼本工事着工				▼
環境影響評価										
準備工事										
建設工事										

【富山新港地点の発電所構成概要】

	現在		2033年度以降（予定）	
	出力	燃料	出力	燃料
石炭 1号機	25万kW	石炭・重油	廃止	
石炭 2号機	25万kW	石炭・重油	廃止	
1号機	24万kW（休止）	重油・原油	廃止	
2号機	50万kW	LNG・重油・原油	50万kW	LNG・重油・原油
LNG 1号機	42.47万kW	LNG	42.47万kW	LNG
LNG 2号機	—		60万kW級	LNG
合 計	142.47万kW※		約152万kW	

※休止中の1号機出力を除く

【事前調査・設備設計内容】

- ・環境調査（現況調査、予測評価等）
- ・設備調査（地質調査等）
- ・設備設計（基礎・建物・発電設備設計等）

以 上

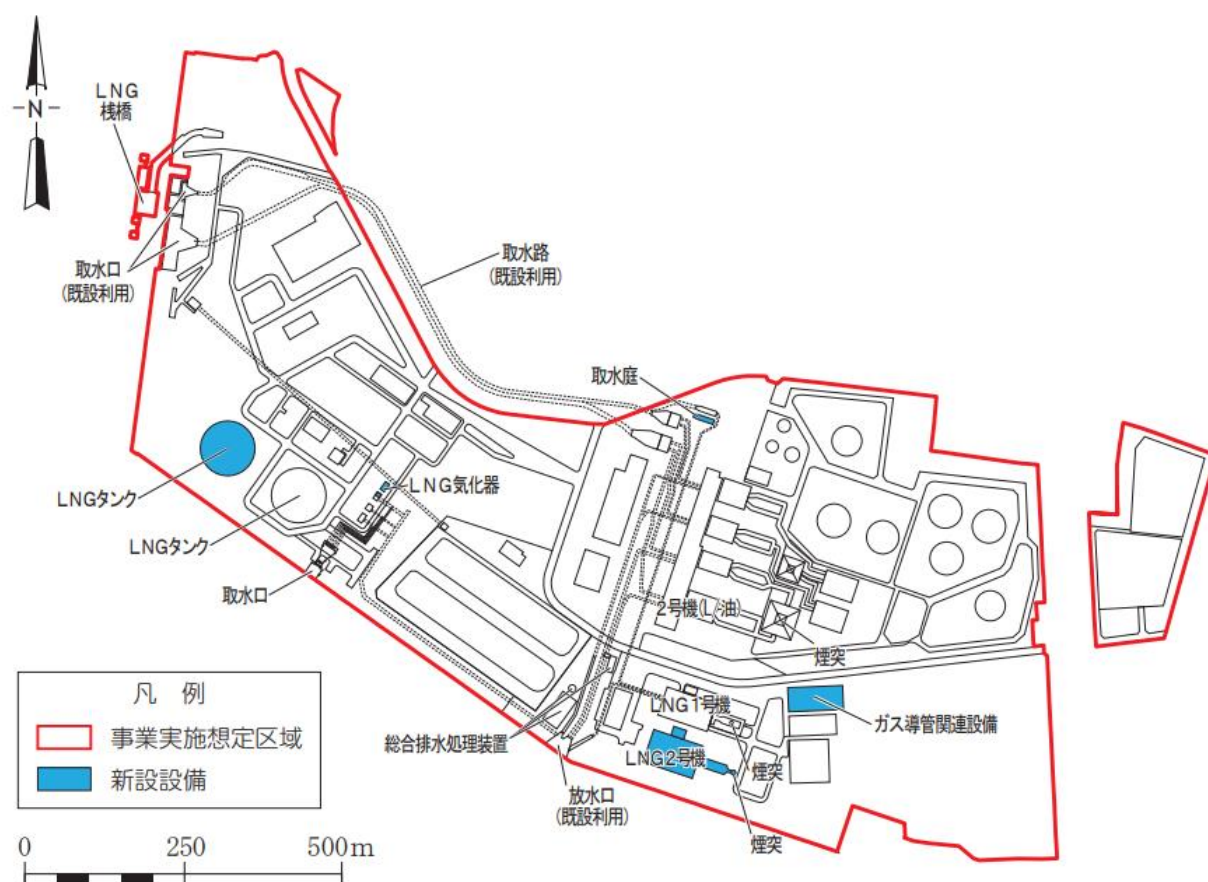
富山新港火力発電所LNG 2号機の設備配置の概要

1. イメージ図



発電用燃料は、新設のLNGタンクより供給する方法、ガス導管より供給する方法等を検討

2. 設備配置計画図



配置計画は、今後の検討により詳細を決定します。